

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【公表番号】特表2007-501338(P2007-501338A)

【公表日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【年通号数】公開・登録公報2007-003

【出願番号】特願2006-522403(P2006-522403)

【国際特許分類】

D 04 B 15/48 (2006.01)

D 04 B 15/36 (2006.01)

D 04 B 15/88 (2006.01)

【F I】

D 04 B 15/48

D 04 B 15/36 103

D 04 B 15/88 102

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月25日(2007.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つの編み針、前記少なくとも1つの編み針に糸を供給する少なくとも1つの積極的給糸装置、編み操作のコース中に少なくとも1つの編み針に関する情報を提供する針監視手段、および前記積極的給糸装置の動作を制御する制御装置を有する編み機であって、

前記針監視手段は、針選択データを提供するような構成であり、制御装置は、編み操作のコース中に針監視手段からこのようなデータを受信し、前記データを使用して、編み針に供給すべき糸の所望の量を計算して、編み操作のコース中に所望の量の糸を編み針に供給するために、積極的給糸装置を制御するような構成であることを特徴とする編み機。

【請求項2】

さらに少なくとも1つのステッチ・カムを有し、制御装置が前記ステッチ・カムの動作を、所定の編み目長さの編みループを生成するように、編み操作のコース中に制御する請求項1に記載の編み機。

【請求項3】

さらに、少なくとも1つの編み針に供給される糸の張力を測定する張力測定手段を有し、張力測定手段によって測定された糸張力が制御装置に通信され、制御装置が測定された糸張力を使用して編み操作を制御する請求項1または2に記載の編み機。

【請求項4】

制御装置が、張力測定手段によって測定された糸張力に従ってステッチ・カムの動作を制御する請求項2または3に記載の編み機。

【請求項5】

編み地巻き下げ手段を含み、編み地巻き下げ手段の動作が、編み機によって使用される編み目長さに従って編み地巻き下げ手段の動作を制御するように、編み操作のコース中に制御装置によって制御される請求項1～4のいずれか1項に記載の編み機。

【請求項6】

制御装置が、張力測定手段によって測定された糸張力に従って編み地巻き下げ手段の動作を制御する請求項 3 から 5 のいずれか 1 項に記載の編み機。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の横編み機。

【請求項 8】

少なくとも 1 つの積極的給糸装置を使用して、少なくとも 1 つの編み針に、ある量の糸を供給しながら、少なくとも 1 本の前記糸で編み構造を編むことと、編みのコース中に少なくとも 1 つの針に関する情報を提供するために、その動作を監視することとを含む方法であって、

提供される情報が、編み針に供給すべき糸の所望の量を計算するために使用される針選択データであり、積極的給糸装置が、編みのコース中に編み針に所望の量の糸を供給するために制御されることを特徴とする方法。

【請求項 9】

編みのコース中に入テッチ・カムの動作を、所定の編み目長さの編みループを生成するように、ステッチ・カムの動作を制御するステップを含む請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

少なくとも 1 つの編み針に供給される糸の張力を測定するステップを含み、測定された糸張力が編みの制御に使用される請求項 8 または 9 に記載の方法。

【請求項 11】

ステッチ・カムの動作が、測定された糸張力に従って制御される請求項 9 または 10 に記載の方法。

【請求項 12】

編みのコース中に使われる編み目長さによって、編み地巻き下げ手段の動作を制御するステップを含む請求項 8 から 11 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 13】

編み地巻き下げ手段の動作が、測定された糸張力に従って制御される、請求項 10 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 14】

横編み機で実行する請求項 8 から 13 のいずれか 1 項に記載の編み方。